



# 富士特だより

【めざす学校像】

児童生徒一人一人の自立を育てる 笑顔

あふれる学校

富士見市立富士見特別支援学校

令和3年7月1日(木) 第4号

## 「愛される障害者の育成」

生きる力の育成は、70年に一度の大改革といわれる今回の学習指導要領にも引き継がれています。本校では、生きる力を地域とつながり、地域の中で安心して生きていける力として捉えており、学校教育目標には「愛される障害者の育成」と「働いて税金を納めることができる障害者の育成」というサブテーマが設定されています。卒業後、地域で安心して生き続けるためには、地域で愛される人間性豊かな社会人になること、働いて経済活動に参画し、税金を納めることができる社会人になること、地域とつながり、地域で自己実現を図ることが必要です。人生100年時代の到来を受け、長い卒業後を意識し、地域との連携と障害者育成が本校の責務でと考えています。

愛される障害者の育成について紹介します。愛される障害者の育成イメージは、「今日は〇〇さんの担当でよかった、今日も〇〇さんと仕事ができ嬉しい」と思ってもらえるような豊かな人間性を有する人づくりです。愛される障害者に共通しているのは、本人とご家族の笑顔、そして自己肯定感の高さです。笑顔は人を拒みません。笑顔は周囲を安心させます。自己肯定感とは、自分の存在には価値があり、今の自分自身に満足しているという意味です。わかりやすくいえば、今の自分が好き！や今の自分はイケてる！ということです。自己肯定感が高まると、物事を肯定的に捉え、プラスの面を見る習慣が身に付きます。他人の評価を気にせず、自分から積極的に行動する姿勢も定着します。苦手なこともあるけれど、私はこれができるから満更じゃない！と自分らしさや自分の強みを理解することもできるようになります。子どもたちは、多くの人と関わり合い、学び合い、沢山の愛情を受けて、自分自身を好きになり、自分自身がかけがえのない存在であることを理解します。本校では先生方が、担任する子どもたちを好きになることから始めます。そうすることで、その子の良さやできること、得意なことが際だって見えてきます。その子と過ごす時間も楽しくなります。子どもたちにも同じ感情や感覚が芽生え、互いに信頼関係で結ばれます。笑顔があふれ、この先生の言うことなら頑張ろう！や褒められたい！と、挑戦する気持ちが育まれます。できないことや苦手探しの実態把握が解消し、プラス思考で、将来の可能性を意識したポジティブな課題設定や授業づくりが展開します。授業や日々の関わりを通して、子どもたちの自己肯定感がぐんぐん高まっています。

## 先輩のチャレンジを応援しましょう！

いよいよ東京オリンピック・パラリンピック2020の開会が3週間後に迫りました。個人的には2度目の東京オリンピックであり、56年前、ブルーインパルスが描いた頭上の大きな5輪を今でも鮮明に覚えています。

さて、パラリンピックの聖火ランナーとしてチャレンジする本校の先輩がいることを皆さんはご存じでしょうか。彼は、手島凜さん19歳。今春本校の高等部を卒業し、社会人1年生として挑戦を続けています。8月19日(木)埼玉県第5区間である朝霞駅から出立式会場である朝霞中央公園陸上競技場への道のりを走る予定です。みんなで応援しましょう。

公式サイトに掲載されている手島さんのコメントの一部を紹介します。

僕は生活介護施設に通っている19歳です。生まれつき身体に障がいがあり、電動車椅子で生活をしています。食事や着替えは周りの人に手伝ってもらっています。

電動車椅子に乗れるようになってから1人でいろいろなところに出かけられるようになり、世界が広がりました。いつもいろいろな人たちに手伝ってもらい、感謝しています。

また、いろいろなことに挑戦しています。手伝ってもらうことが多い自分ですが人の力になりたいと強く思います。自分ができること...それは言葉と笑顔で元気をあげることだと思います。

これからも自分に出来ることを実践していこうと思います。



校長 阿部 和彦

# 6月の取り組み

## 小学部校外学習

17日(木)に、小学部の3年生以上で校外学習として、ふじみ野市西ノ原中央公園に行きました。昨年度は、コロナ禍ですべて中止となってしまっただけに、児童たちの期待感もいつも以上に高まっていました。たくさんの大きな遊具で楽しく遊んだり、お弁当をみんなでおいしくいただいたりすることができました。



## 中学部校外学習

25日(金)に武蔵丘陵森林公園に行ってきました。当日は雨が心配されていましたが、生徒たちの日頃の行いのおかげで、無事晴天で終えることができました。楽しいバスレクに始まり、森林の散策、おいしいお弁当、巨大トランポリン「ぼんぼこマウンテン」など、様々な活動を時間いっぱい楽しむことができました。



## 高等部現場実習・校内実習

5月31日から2週間、高等部では実習期間でした。1年生は校内実習、2・3年生は現場実習で外部の事業所にお世話になりました。多くのことを学び、これからの進路につなげていきます。



## 小学部 水遊び

今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、水泳指導ができないことになってしまいました。しかし、水泳がなくても、水に慣れたり、親しんだりする学習を考え、小学部では体育の授業で「水遊び」をしました。シャワーやミスト、お手製のグッズを使い、子どもたちは大満足でした。



## お知らせ

- ・9日(水)に学校運営支援者協議会が開催されました。5名の方が参加され、貴重なご意見をいただきました。ありがとうございました。
- ・校務員の中山芳廣さんが5月31日付けで、一身上の都合により退職しました。後任として、6月16日より後藤信二さんが赴任しました。
- ・看護師の神山純子さんが6月30日付けで、一身上の都合により退職しました。後任として、本校調理員の泉日出子さんが7月1日より赴任しました。また、調理員の後任として、7月5日より山口通子さんが赴任します。